

感染状況・医療提供体制の分析(9月22日公表)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計		前回の数値 (9月12日公表) 9月1日～9月7日	現在の数値 (9月19日公表) 9月8日～9月14日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり 患者報告数 (注:報告者数は、県内50定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	615人	608人	→	感染状況 コメント	レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要
		定点当たり数	12.30人	12.16人	→		
		報告数に占める60歳以上の割合	29.1%	24.3%	↘	定点当たり新型コロナウイルス感染症(COVID-19)報告数は12.16人と不変。全国的には感染者数は減少傾向にあるが、今後も流行継続が見込まれる。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要。ハイリスクな方へはうつさないよう配慮を。 COVID-19による入院患者も継続。重症化する患者は継続的に発生。職員の感染も増えている。ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。	
	② 保健所別 定点当たり 患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	9.33人	10.33人	↗		
		倉敷市保健所	13.08人	12.25人	→		
		備前保健所	10.00人	13.75人	↗		
		備中保健所	20.20人	16.80人	↘		
		備北保健所	19.00人	20.75人	→		
		真庭保健所	15.50人	6.50人	↘		
	美作保健所	8.40人	8.00人	→			
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)		20人	21人	→	伝染性紅斑が流行している。	
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)		2人	0人	↘		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。